

関西フランコフォニー・ フェスティバル In 神戸2016

2016年3月19日(土)

13:00 ~ 20:00

兵庫県立美術館

【神戸市中央区脇浜海岸通1-1-0】

講演会/映画：ギャラリー棟
ミュージアムホール

懇親会：館内レストラン
「ピエール・ミュゼ」



JR灘駅/阪神岩屋駅から徒歩約10分

estival de la Francophonie dans le Kansai 2016 - Kobe

主催 関西フランコフォニー・フェスティバル in Kobe 実行委員会

協賛
協力



後援



■ プログラム * 第1部～第3部は参加無料です

12:30 開場 ギャラリー棟 ミュージウムホール
13:00 主催者あいさつ

第1部 【無料】
13:15 ~ 14:00

フランコフォニーの部

第2回世界フランス語フォーラム
(於: リエージュ(ベルギー)2015 7/20~23)
第2回世界フランス語フォーラムへ日本の若者を派遣するプロジェクトは安倍首相官邸広報室の協力を得て、日本におけるフランコフォニー推進会議が提唱して実現しました。現地で日本からの参加者が日本を紹介するアトリエの進行役を務めた推進会議代表がこのプロジェクトを紹介します。また、神戸からの参加者が現地で感じ、学んだことを報告します。



第2部 【無料】
14:10 ~ 15:30

スイスの部

スイス人小説家 デビット・ゾペティ氏講演会



プロフィール: 1962年ジュネーブ生まれ。ジュネーブ大学日本語学科、同志社大学文学部国文学専攻を経てテレビ朝日初の外国籍正社員として働く。1996年「いちげんさん」で、すばる文学賞を受賞、芥川賞候補になる。2001年「旅日記」で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。アブサンを日本に輸入する仕事に携わった経験も。

小説家デビット・ゾペティ氏が「緑の妖精」の別名で知られるスイス発祥の美酒アブサンについて語ります。19世紀の芸術家たちとアブサンの密接な関係に触れた後、アブサンが100年近い禁止時代を経て2005年に解禁された経緯を紹介。アブサンの飲み方の実演も行います。後半では100年前にスイスで生まれた文化・芸術運動のダダイズムに焦点を当て、ダダイズムの芸術家たちとアブサンの蜜月を取り上げます。

第3部 【無料】
15:45 ~ 17:50

ケベックの部

映画上映: "Café de Flore"

2011年/カナダ映画 フランス語/日本語字幕)
1960年代パリ、シングルマザーと障害を持つ息子の物語。
そして現代のモンリオール、目で惹かれ合った男と女の物語。
決して交わることのない2つの人生が時を越え、"奇跡の愛"でつながる!



第4部 【会費制】
18:30 ~ 20:00

交流会 (館内2階レストラン「ピエール・ミュゼ」)
会費: 6,000円

■ 問い合わせ・申し込み先

関西フランコフォニー・フェスティバルin神戸実行委員会 担当: 小林
Eメール: francophoniekobe@gmail.com FAX: 078-271-9464

■ 参加申し込み * 下記事項を記入のうえ、EメールまたはFAXでお送りください

ふりがな		電話番号	
名前		Eメール	
所属機関 団体 企業名	参加したいイベントに○をしてください		
	第1部	第2部 (無料)	第3部 第4部 (6,000円)